



タフコンサルティング 株式会社
代表取締役

高畑 豊

1961年生まれ、東京都出身。高校卒業後、千葉県警、海上自衛隊での勤務を経て都内の信用金庫に就職し、約18年にわたり中小企業への融資を担当する。信金を退職後は食品関係の中小企業に経理・財務担当として入社し、数々の企業買収に携わる。そこで身に付けたM&Aによる企業価値向上のノウハウを生かすべく、2019年にタフコンサルティング(株)を設立した。

後継者のいない中小企業をM&Aで救う 企業価値を上げ、資金調達で事業継続へ

タフコンサルティング(株)は、中小企業のM&Aを支援し、後継者難の経営者に、会社継続への希望の光をもたらす存在だ。中小企業の技術やノウハウを次の会社に引き継ぐことで守っていききたいと話す高畑社長に、タレントの矢部美穂さんがインタビューした。

海上自衛隊員からM&Aの参謀役に

矢部 高畑社長は、中小企業を対象に、M&Aによる企業価値向上のためのコンサルティングをされているそうですね。これまで、どのようなキャリアを歩んでこられたのでしょうか？

高畑 私は学業を終えると警察官になり、千葉県警で4年半務めた後、海上自衛隊に入隊して5年の任期を満了しました。適性があったため、潜水艦の乗組員も経験したんですよ。

矢部 意外なご経歴をお持ちですね！そこからの展開が気になります。

高畑 金融関係の仕事に興味があったので、除隊後は都内の信用金庫に入行して18年ほど勤めました。その経験を生かす形で、食品小売の中小企業に経理と

して転職し、財務管理を任せられるようになったんです。M&Aについても、そこで初めて経験しました。

矢部 M&Aというと、強大な力を持つ企業が、自身より小さい会社を買収する「弱肉強食」のようなイメージがありますが、高畑社長はどのようなM&Aを手がけられたのですか？

高畑 私が手がけたのは、単に会社を大きくするための企業買収とは目的が少し異なります。前職の会社の場合、私が入社した時点で年商が80億台で推移していましたが、当時50代前半の社長には後継者がいませんでした。そこで、財務を任せられた私が参謀役となり、社長と二人三脚でM&Aを通じた企業価値の向上に乗り出したわけです。通常、後継者のいない会社は金融機関からの資金調



達も難しくなりますが、M&Aを繰り返して企業価値が上がれば、その問題をクリアすることが可能です。実際、元は食品と雑貨の小売業だったその会社は、10年間で15社のM&Aを成功させることで、食品の小売業を展開する年商400億円規模の会社に成長しました。

矢部 10年で年商5倍を達成されたのですか！それはすごいです！

連続M&Aと社内の仕組みづくりに注力

矢部 後継者がいなくて仕方なく廃業してしまうのと、M&Aで企業価値を上げるのでは大きな違いですよね。

高畑 資金さえ集まれば会社は存続できるので、当面の後継者問題も解決します。私が一緒に伴走してきた社長も、東京の小売業に進出したい別の会社に自社の価値を認められ、60代のちょうどいいタイミングで売却が成立し、無事に「ハッピーリタイア」を実現しました。

矢部 そうしたモデルケースをつくることが、高畑社長にとっても大きな転機になったのですか？

高畑 はい。前職に区切りがついた後、いろいろと今後の方向性を模索した結果、M&Aの当事者として培った経験を商品化するため、タフコンサルティング(株)を設立するに至りました。

矢部 では、あらためてサービスの内容についてお聞かせください。

高畑 今お話ししたように、以前の私は

会社に所属して、企業買収に向けた準備から、成約後に事業を軌道に乗せるまでの一連の作業に携わる当事者でした。いわゆる大手のM&A業者は買う会社と売る会社の情報を持ちつ仲介者ですが、私がやりたい仕事はそれとは違います。社内にM&Aのための事業部あるいはチームをつくり、大手の仲介業者やブティック(M&Aアドバイザー)さん等から紹介された買収案件に対し、資金調達も含めてどのように対処するか、順を追ってサポートしていきます。中小企業にとってネックになりがちな資金調達を支えつつ、さまざまなかたちの連続的なM&Aによって企業価値を高めるノウハウまでしっかりご提供させていただくのです。

中小企業が培ったものを次代へつなぐ

矢部 高畑社長がM&Aに取り組む姿勢には、ビジネスを超えた情熱を感じます。ご自身ではどう思われますか？

Guest Comment>>

矢部 美穂 (タレント)

後継者のいない中小企業が廃業して、そこにあった技術やアイデアも一緒に消えてしまうのだとしたら、高畑社長の言葉通り、すごくもったいないですよね。先行きが見えない中小企業をM&Aで存続させようと奮闘する社長は、日本産業の未来を守る大事な仕事をされていると思います。その取り組みが、助けが必要な社長さんたちに届くことを心から願っています。

